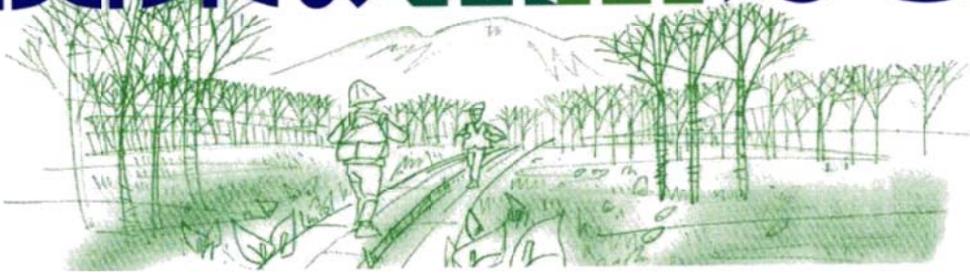


平成25年1月1日

第106号

関東の森林から



国民の森林・国有林

関東森林管理局

前橋市岩神町4-16-25
TEL.027-210-1158

<http://www.rinyamaff.go.jp/kanto/>

謹賀新年



富士山（富士市からの眺望）（静岡県富士市）

（撮影者：静岡森林管理署 森林保護員 小林 清）

年頭のご挨拶

関東森林管理局長 岡田 憲和

私と国有林「森林の恵みを皆さんと一緒に楽しむ」

夢見平遊歩道を守る会 会長 築田 昇氏

年頭のご挨拶

関東森林管理局長 岡田 憲和



新年を迎え、謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。

昨年を振り返ってみますと、「東北地方太平洋沖地震」、「福島第一原子力発電所事故」への対応という大きな国民的課題がある一方で、国有林野事業を特別会計により企業的に運営する事業から一般会計で実施する事業に改めるという重要な制度改革が行われた年でもありました。

本年につきましても、昨年から引き続き国民的課題へ積極的に取り組むとともに、我が国の森林・林業への貢献に向け、一層の努力を怠りません。

さて、「東北地方太平洋沖地震」からの復興につきましても、事故由来放射性物質による環境汚染への対処と並んで、国全体の最優先課題であります。関東森林管理局といたしましても、復興用木材の供給はもちろんのこと、被災地の多くが森林・林業・木材産業に係のある地域であることも踏まえ、復興に全力を尽くす所存です。

本地震に伴う巨大津波において、海岸防災林をはじめ太平洋沿岸地域に壊滅的な被害が発生し、関東森林管理局管内でも福島県相馬市の松川浦海岸防災林が被災しました。海岸防災林には、津波エネルギーの減衰や到達時間の延長、漂流物の捕捉といった効果があり、

安全性が確認されたがれきを盛土材等に積極的に活用するなど、被災した海岸防災林の再生に取り組んでまいります。

また、福島第一原子力発電所事故により放出された放射性物質の除染につきましても、昨年4月に関東森林管理局の組織として、「森林放射性物質汚染対策センター」を設置し、地元市町村と連携を図りながら、国有林内の放射性物質の除染を実施しているところです。さらに、除染土壌等の仮置場用地としての国有林の提供などについても関係市町村等と十分連絡調整を図りながら取り組んでいるところです。今後引き続き森林の除染などにしっかりと取り組んでまいります。

次に、森林・林業につきましても、林業経営の基盤づくりや、木材の安定供給と利用に必要な体制の構築に向けた施策を進めることとして、一昨年7月に「森林・林業基本計画」及び「全国森林計画」が閣議決定され、政府全体として森林・林業の再生に取り組むことが位置づけられました。

関東森林管理局といたしましても、「森林・林業基本計画」と「国有林野の管理経営に関する基本計画」に基づき、森林・林業の再生に向け、民有林・国有林の連携を重視しつつ、間伐とこれに必要な路網整備の加速化、森林共同施業団地における取組

の促進、市町村の森林整備計画作成支援を行うフォレストスターや林業専用品技術者などの人材育成の支援、国産材の安定供給、木質バイオマス資源の活用などに率先して取り組んでいくこととしています。

特に、国有林野事業につきましても、本年4月から一般会計に移行することとしており、公益重視の管理経営を一層推進する中で、その組織・技術力・資源を活用して、地域の森林・林業、そしてまた、我が国の森林・林業へ貢献できるように一層の努力を怠りません。

以上のとおり、関東森林管理局といたしましては、森林・林業の再生と震災復興の両面にわたる、国民の皆様からのご期待に応えられるよう、関係する機関や都県、市町村等と連携を密にさせていただきながら、施策の展開を着実に図ってまいりたいと考えております。

また、多岐にわたる役割を担ってきた管内国有林を今後とも国民共通の財産として適切に管理し、国民の皆様からの負託に適切に応えられるよう職員一丸となって取り組んでまいりますので、より一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

以上、年頭に当たり、所感の一端を申し上げますが、皆様のご健勝とご多幸を祈念申し上げます。年頭のご挨拶といたします。

「国有林野等所在市町村長有志連絡協議会」を開催

企画調整室

関東森林管理局では、「開かれた国民の森林」の実現に向け、国有林野等が所在する地域の市町村長との意見・情報交換を目的とした会議を毎年開催しています。

今年度は、去る11月14日（水）に各地域の代表市町村長等14名と林野庁から百崎管理課長、吉村特用林産対策室長、関東森林管理局から岡田局長、木下次長及び関係森林管理署長等ほか関係者が出席し、東京都江



挨拶する岡田局長



市町村長との意見交換

東区の木材会館で開催しました。会議の冒頭に、岡田局長より、国有林野事業の管理経営等に対するご支援へのお礼や森林・林業再生に向けた関東森林管理局の取組の紹介等の挨拶を行いました。続いて、林野庁より新たな森林計画制度や平成25年度林野庁関係予算概算要求等の中央情勢について、関東森林管理局からは、管内の森林共同施業団地やフォレスト・研修、森林の除染等及び海岸林等の復旧などの取組について説明を行いました。

各市町村長等からは、森林管理・環境保全直接支払制度に係る森林整備や公共建築物の木造化などの木材利用の促進、木質バイオマス発電に係る木材供給、近年深刻化している鳥獣被害への対策、森林の除染など、多岐にわたる発言があり、これらの考え方等について林野庁・関東森林管理局から説明するなど活発な議論がなされました。

最後に木下次長より、各市町村長等よりいただいた貴重なご意見・要望等について、関係森林管理署等と連携して期待に応えるよう努めていくこと、また、森林・林業の再生に向け、民有林・国有林の連携を一層強化していくことを表明して、会議を終了しました。

関東森林管理局では、伺ったご意見・要望等を踏まえ、引き続き、開かれた「国民の森林」として、国民視点にたった国有林野の管理経営に努めて参ります。

森林官能力向上研修を実施

「民国連携に向けたスキルアップを目指して」

去る10月30日～11月2日及び11月6日～9日の2回にわたり、今年度から新たに計画された「森林官能力向上研修」が実施されました。

本研修のねらいは、「森林・林業の再生に向けた新たな取組への対応と、国有林野事業の一般会計化に対応し得る人材を育成するため、特に民国連携の推進や民有林支援に繋がる知識の習得と技術の向上を図る」とこととされています。

今回の受講対象者は、現場に携わ



池田計画部長の講義

る森林官を中心に署等係長や係員を含むとされており、その職務や経験も多岐にわたる方々が集まりました。カリキュラム構成は、大きく分けて前半の講義形式と後半のグループ演習とし、3泊4日の日程で行われました。

初日、池田計画部長からは「森林・林業再生プラン」を基に森林計画制

度の見直しや各種取組の再確認及び
 民国連携に重要な役割を果たすフ
 レスターの育成についてなど、現下
 の林政一般に関する講義が行われ、
 続いて民有林行政を学ぶことを目的
 に、地元群馬県の取組について石井
 林政課長より講義をいただきました。

2日目午前中は、より深く民有林
 を知るべく群馬県森林組合連合会の
 高橋指導課長より、主に提案型集約
 化施業の取組について、また森林施
 業プランナー(注)として活動して
 いる利根町森林組合の吉野氏からは、
 実際の民有林施業等についてインタ
 ビュー形式による講義が行われまし
 た。

(注)「森林施業プランナー」とは、
 森林所有者に代わって、市町村森林
 整備計画におけるゾーニングに基づ
 いた森林経営計画を作成し、森林施
 業の内容や事業収支を示した施業提
 案書を作成して施業を受託し、現場
 技術者への作業内容の指示から実行
 管理までを行う者。(森林施業プラ
 ンナー協会より抜粋)

これらに引き続き、林野庁が力を
 入れている民国連携の取組の一つ
 「森林共同施業団地」の趣旨や期待
 される効果、設定状況と事例紹介等
 について計画課山形流域管理指導官
 より講義を受けました。

ここまでの講義を踏まえて、いよ

いよ2日目午後からは5名程度の班
 に分かれてグループ演習に入ってい
 きます。

演習テーマは「森林共同施業団地
 設定を柱とした構想を対外的に提案
 する」というものであり、参加型体
 験学習を通しての能力向上を目指し
 ました。

具体的には民有林・国有林が混在
 し面的な広がりのある地域を題材に、
 民国一体となった路網整備と間伐施
 業の長期的な計画・構想を策定し、
 地域の関係者に対して理解・協力を
 得るためのプレゼンテーションを行
 う、という流れです。

作業に入る前に、基礎知識として
 林業専用道を主とした路網整備や作
 業システムの考え方、間伐材の販売



グループ討議

戦略等に関する技術的な解説を販売
 課松本企画官より受けた後、班内で
 協力して構想を練り、エクセルを用
 いた収支計算や発表用図面とパワー



プレゼンテーション

ポイントの作成を進めていきました。
 またこの研修では、山本企画官・高
 田専門官により“伝える技術”の向
 上を目指して「コミュニケーション
 とプレゼンテーション」に関する講
 義と実践も行いました。

最終日の発表は、相手を地域の民
 有林関係者と仮想してプレゼンテ
 ーションを行い、質疑応答も“役”に
 なりきって行うというロールプレ
 イ形式で行いました。あまり体験し
 ことのない研修スタイルには新鮮味
 もあり、“良い場数”になったので

はないでしょうか。
 この演習では技術的な知見を学ぶ
 こともさることながら、自分自身で
 考えたことを話し合い、意見をまと
 め上げて伝える、という過程の中で
 様々な発見があり、そのことも業務
 に活かされるのではないかと思います。

今後も、出来れば中身の伝わりや
 すい研修名に衣替えして、内容を充
 実させながらこのような研修を継続
 していくことは、民国連携を通じて
 地域の活性化を実現し、森林・林業
 の再生に繋がる有意義な取組である
 と考えます。
 (森林技術普及専門官 高田悟)



研修生



○赤谷の森のモニタリング活動第4回（溪流環境復元WGの取組）

赤谷プロジェクトでは、生物多様性の復元に向けた取組の一環として、溪流環境の復元にも取り組んでいます。

平成21年度には、溪流の上流と下流の連続性を確保し、自然本来の溪流環境の復元を目指す治山ダム中央部を撤去する改修工事を行いました。



治山ダム中央部の撤去

溪流環境とは

とところで、溪流とは本来どのようなものなのでしょう。その特徴の一つには、水の循環に伴う物質（砂礫・土砂等）の移動があげられます。溪畔林の更新の仕組や生態学的な機能もこの水による砂礫等の移動の働きの上に成立しています。しかしながら、水のもつエネルギーは時として非常に大きなものとなり、溪流の形を変えるような大規模な災害も引き起こします。そのような災

害が下流に暮らす人たちに被害をもたらさないよう、赤谷プロジェクトエリア内でも要所・要所に治山ダム等が設けられ、大規模な土砂や砂礫の移動を抑制しています。

一方、山地の溪畔林に自生するケシヨウヤナギやシオジ、サワグルミなどは、砂礫の移動が頻繁に発生する場所を好むことが分かっており、砂礫の移動を抑制しすぎることは、これらの樹種を衰退させる可能性を持っています。

溪流環境の調査

そのため、赤谷プロジェクトでは、エリア内のどこにどのような溪流環境があるのかを把握し、それぞれの特徴を踏まえた上で、溪流ごとの環境の保全・復元のあり方を検討しています。

日本では溪流環境（地形や地質など）そのものに着目した調査はあまり行われてこなかったことから、この調査は、「調査マニュアル」と「調査野帳」の作成から始まりました。調査項目は、地形と水の流れ、川底は岩盤か石礫か、河原や谷斜面に植生があるかなど、専門家だけでなくとも説明を受け、何力所か調査すれば記入できるものとなっています。

溪流環境の調査を行って

活動を始めてから9年目となる赤谷プロジェクトでも溪流の踏査は初めてでした。

下流の調査ポイントから歩いていけばいい、そんな風に考えていましたが、谷底が狭くなったり（水深が深くなり、溪流を歩けない！）、広くなったり、カーブを曲がったら見上げるような滝・・・。行きつ戻りつを何度となく繰り返しながらの

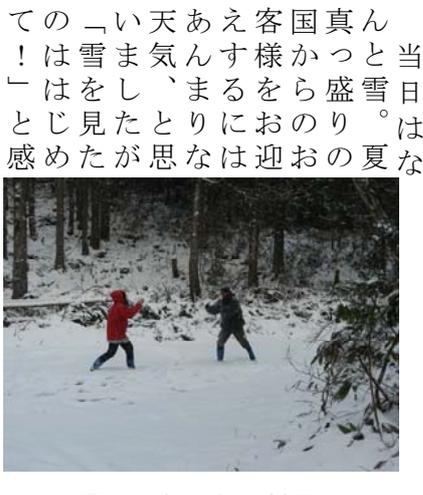


プロジェクト関係者の誰も知らなかった大滝

調査ですが、新たな発見も多く楽しめました。これらの調査が溪流という特殊な環境に依存する動植物の保全等につながるればと考えています。

○ブラジルからのお客様

11月27日に国際協力機構（通称JICA）が行う研修で日本を訪れているブラジルの環境省職員3名の方が赤谷の森を訪れました。



雪とたわむれる様子



ブラジル環境省職員と記念撮影

謝されてしまいました。ご存じの通りブラジルは国土も広く民族も多種多様、国民の教育水準も様々、そして今、まさに発展中、そのような国での自然保護活動は苦勞の連続のようです。

赤谷プロジェクトは発足9年目で、ようやく各種工事等との調整のルー ル化ができてつつあること、このような取組を進めて行くには、「幅広い層への環境教育」や「科学的な根拠に基づいた情報提供」等が重要と考 えている等の説明をしました。

皆さんからは、ブラジルで環境教育に取り組むのはまだまだ難しいが、保護区の利用を規制するだけではなく、情報提供等にも力を入れていきたいとのコメントをいただきました。熱帯ジャングルを抱えるブラジルでの動植物の保護活動に、赤谷プロジェクトが何かの参考になればと思 いました。



夢見平水芭蕉

ある時、森林に分け入った時に夢を見ているのではと見間違えるほどの絶景の湿地帯に出ました。そこは一面の花園となっており、感動を覚えたのを記憶しています。後にこの地を夢見心地の地として『夢見平』と名づけました。この素晴らしさを多くの皆さんに楽しんでほしいと思いい、遊歩道を造ることを考えました。しかし、この森林は、軌道敷がわずかに分かるのみの雑木林、竹林であり、整備の方法を日夜考えていました。

この時代は、妙高高原地域では、スキー人口が減少し、訪れるスキー客の減少が地域の悩みとなっており、時同じくして社会は、まさに森林浴がブームを迎えた時でもありません。食堂を訪れるお客さんの中には、「火打山の高山植物の花園を見て心身ともにリフレッシュできた」との声をよく聞きましたし、登山ができない高齢者や子どもさんは、その素晴らしいさを楽しめないでいるのを目の当たりにしており、遊歩道造りの思いは益々募っていきました。なんとか出来ないか知恵を絞っていた時に

あるペンション経営者から「地域の皆さんが集まるので話しをして欲しい」とのお願いがあり、「ホワイトシーズンが今までの収入源であったが、これからはグリーンシーズンのお客を増やすことが地域の発展には重要である」と話をしたのを覚えています。

その時に集まった約40人の皆さんがボランティアとして協力され、関係機関等のご理解をいただく中で平成3年に整備に着手し、約3年の歳月をかけて現在の4^{キロ}の遊歩道の開設にこぎつけました。

開設当初、あるペンション経営者が沖縄県の出身ということもあり、沖縄からツアーを組んで遊歩道を散策においでいただいた折、雨が降っていたにもかかわらず散策された皆さんからは「こんな素晴らしいところははない」と絶賛いただいたことが励みになり、その後の整備につながって来ていると思います。

この思いを励みに遊歩道開設以来20年、地域の皆さんのボランティアで、遊歩道を整備す



遊歩道の整備作業



ツミトンネル

私と国有林

「森林の恵みを皆さんと一緒に楽しむ」

夢見平遊歩道を守る会 会長 築田 昇

私が現在の笹ヶ峰高原の乙見湖休憩舎のところで食堂を営んでいた時、山の恵を皆さんに提供して喜んでもらおうと日々森林に分け入っていました。その時はすでに国有林の材木を伐採し、軌道を使って材木を搬出していた時代から相当な年月が流れており、軌道敷がわずかに分かるほど森林の荒廃が進んでおりました。

あるペンション経営者から「地域の皆さんが集まるので話しをして欲しい」とのお願いがあり、「ホワイトシーズンが今までの収入源であったが、これからはグリーンシーズンのお客を増やすことが地域の発展には重要である」と話をしたのを覚えています。

その時に集まった約40人の皆さんがボランティアとして協力され、関係機関等のご理解をいただく中で平成3年に整備に着手し、約3年の歳月をかけて現在の4^{キロ}の遊歩道の開設にこぎつけました。

開設当初、あるペンション経営者が沖縄県の出身ということもあり、沖縄からツアーを組んで遊歩道を散策においでいただいた折、雨が降っていたにもかかわらず散策された皆さんからは「こんな素晴らしいところははない」と絶賛いただいたことが励みになり、その後の整備につながって来ていると思います。

この思いを励みに遊歩道開設以来20年、地域の皆さんのボランティアで、遊歩道を整備す

あるペンション経営者から「地域の皆さんが集まるので話しをして欲しい」とのお願いがあり、「ホワイトシーズンが今までの収入源であったが、これからはグリーンシーズンのお客を増やすことが地域の発展には重要である」と話をしたのを覚えています。

その時に集まった約40人の皆さんがボランティアとして協力され、関係機関等のご理解をいただく中で平成3年に整備に着手し、約3年の歳月をかけて現在の4^{キロ}の遊歩道の開設にこぎつけました。

開設当初、あるペンション経営者が沖縄県の出身ということもあり、沖縄からツアーを組んで遊歩道を散策においでいただいた折、雨が降っていたにもかかわらず散策された皆さんからは「こんな素晴らしいところははない」と絶賛いただいたことが励みになり、その後の整備につながって来ていると思います。

この思いを励みに遊歩道開設以来20年、地域の皆さんのボランティアで、遊歩道を整備す

ると共に新たに一日をかけて自然を満喫し、森林浴を楽しんでいたただこうと8^{キロ}コースも開設しました。

今では、多くの皆さんが訪れて、森林の恵みを一緒に楽しんでいただいておりますが、訪れた皆さんに妙高市の魅力を堪能いただくためにコース内にポイントを設けて遊歩道の絵図を完成するスタンプラリーを始め、絵図が完成すると、妙高の温泉で格安にお疲れの体を癒していただくと言う「おもてなし企画」も展開中です。

夢見平遊歩道は、森林の恵みを最大限楽しめるどこにも負けない遊歩道であり続けるよう日々の整備と新たな企画も提供しながら多くの皆さんから妙高の自然と一緒に楽しんでいただきたいと会員一同日夜奮闘中です。

森づくり最前線

埼玉森林管理事務所 大滝森林事務所 森林官 神谷 寛喜



シカによる剥皮被害を受けたヒノキ林



シカ防護柵の設置作業

最近ではカラマツまでも食害被害が出始めています。毎年、猟友会でシカ捕獲を行っていますが、シカは増え続け、キノコ、トリカブトまでもが採食草の対象となり、「食べられるものは全て食べ尽くす。」といったような勢いです。

来年度新植を予定している皆伐跡地周辺にもシカ食害が見受けられ、植付けしたヒノキ苗はシカの餌場になりかねないことから、今秋、地拵（約7畝）と併せてシカ防護柵1950㍍を設置しました。植栽後は定期的に、シカ防護柵の網を破って大切な苗が食べられていないか周囲の点検作業が待っています。

うれしいこともあります。地元中学生を対象とした社会体験学習で、7月から8月にかけて、秩父市内の中学校の1、2年生が、当森林事務所管内にある大河俣沢（おおがまたさわ）の大カツラの看板や保全



源流を上った大カツラの保全ロープ設置に「ガッツポーズ」

当森林事務所は、荒川の源流が流れる埼玉県西部の秩父市大滝地区に位置し、標高2483㍍の三宝山を最高に、2000㍍を超える嶺々に囲まれた、約9800㍍の国有林を管理しています。

都心から比較的近く、日本百名山の両神山や甲武信ヶ岳から東に、埼玉県と山梨県とを画する尾根が伸び、標高おおむね2000㍍級の尾根には、破不山（2318㍍）雁坂嶺（2289㍍）笠取山（1953㍍）大洞山（別号飛龍山2077㍍）雲取山（2017㍍）など、針葉樹林と草原の織りなす静かな山々があり、春から秋、特に夏に登山する人が多い状況です。

また、中津峡、別名中津川渓谷ともいわれる標高約600㍍の場所に位置する全長10㍍㍍、断崖の高さ100㍍の浸食された深いV字状の渓谷は有名な紅葉スポットとしても知られており、多くの登山者や観光客が訪れています。

一方、最近の登山ブームで軽装備で登山するハイカーも多く、毎年、遭難者や事故が多発しています。

造山運動と浸食が同時に進行してきた秩父山地の地形は急峻で、今年度実施した20㍍の収穫調査箇所も平均傾斜45度以上、きついところは70度以上もあり、しっかり地面を踏ん張って、「石落とすぞ」と声を掛け、危ない石を落としながら調査を行ってきました。

この急峻な山を、ニホンシカなどが闊歩し、大切に育ててきたスギやヒノキ、



ボランティアによる笠取山周辺の保護ネット設置も5回目の実施となった

ある大河俣沢（おおがまたさわ）の大カツラの看板や保全ロープの取り替え、樹名板の設置などに一緒に汗を流してくれました。カツラの大きさや葉の匂い、自然の不思議さに興味を持ってもらうことができ「将来は森林管理事務所で働きたい。」と感想を書いてくれたことです。

こうした取組を通じ、秩父の豊かな自然を守り、多くの人々に国有林の大切さを理解してもらえるよう業務に取り組んでいきたいと思ひます。

管内のいちおしスポット

瀬戸合峡

■ 日光森林管理署 <http://www.rinya.maff.go.jp/kanto/nikkou/index.html>
 〒321-1274 栃木県日光市土沢1473-1
 TEL:0288(22)1069(代表) FAX:0288(22)1072



瀬戸合峡

この美しい渓谷は、深さ100m余りの切り立った岸壁が野門橋から川俣ダムまで約2km続き、その険しい岩肌とコントラストを成すように新緑や雪化粧などが彩りを添え、四季折々に美しい景色を楽しむことができます。

中でも、紅葉の美しさは格別で、マツの緑にモミジやブナの赤・黄が渓谷の岩肌に入り交りまさに絶景を創り出します。

瀬戸合峡の素晴らしい紅葉は、毎年10月下旬から11月初旬まで楽しむことができますが、この紅葉をより一層美しく見られる場所は川俣ダムの天端です。

正面に多くの観光客に親しまれている「瀬戸合峡渡らっしゃい吊橋」とその奥に続く瀬戸合峡を望み、振り返ると川俣湖の美しい湖面と紅葉を一度に楽しむことができる一石二鳥のスポットです。

栃木県日光市の北西部、鬼怒川上流に位置する川俣ダムの眼下に広がる瀬戸合峡は、当署が管理する鬼怒沼国有林内にあり、川俣湖・瀬戸合峡風致探勝林に指定されています。

また、1986年「とちぎの景勝100選」に選定された渓谷美と紅葉の名所です。



川俣ダム天端



渡らっしゃい吊橋



川俣湖

さらにこの地域には、川俣温泉、野門温泉、奥鬼怒温泉など秘境の温泉郷、初代将軍徳川家康公の御神体を祀ると言われている「栗山東照宮」（別名：野門東照宮）や平家の落人伝説にまつわる「平家塚」など歴史的にも興味深い社や祠なども数多くありますので、自然に親しみながら温泉をゆっくり楽しみたい方や歴史に興味のある方は、是非一度訪れてみてはいかがでしょうか。

■ ■ 編 発
 行 行
 集 集
 所 所
 総 関
 務 東
 課 森
 林
 管
 理
 局
 F T E
 A L L
 X (0288) 230-1393
 (0288) 210-1158

(日光森林管理署 広報広聴連絡官 生方啓司)